

レジメンcode:	C53-18	備考
適応がん種:	子宮頸癌	
レジメン名:	Tisotumab Vedotin	
間隔:	3週間	










略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	テブダック	[*1]2	mg/kg	点滴(30分)	d1

- *初回投与開始前に、眼科医による診察を実施すること
- *治療開始以降、コンタクトレンズの装着は避けること

【点眼剤】*点眼剤は眼科医が処方する。また、次コース投与前にあらかじめ処方すること。

*副腎皮質ステロイド点眼剤、プリモニジン点眼剤は、1コース毎使用し、次コースで使用しないこと。

テブダック治療期間中に使用する点眼薬・点眼スケジュール

テブダックの投与					
	投与前日 投与24時間前から	投与日	投与の1日後	投与の2日後	投与の3日後以降
副腎皮質 ステロイド 点眼剤					—
← 医師の処方に従って点眼 →					
血管収縮 点眼剤 (プリモニジン点眼液)	—	 テブダックの 投与直前に1回	—	—	—
ドライアイ 治療用点眼剤	—				 テブダックの 投与終了後 30日目まで
← 医師の処方に従って点眼 →					

day1

1) 生食	50ml	1 本	投与5分前から冷却パックを使用する 投与直前にプリモジニン点眼液を1～3滴点眼する ルート確保
2) テブダック		[*1]2 mg/kg	[*1] 投与量は200mgを上限とする
注射用水	100ml	1 本	[*2] 最終濃度:0.7～2.4mg/ml。適宜希釈液を調整する
生食	[*2] 50ml	1 本	4ml/Vの注射用水で溶解、10mg/mlの溶解液となる
	主管①	点滴 30分	インラインフィルター必須
3) 生食	50ml	1 本	テブダック投与終了後30分間は冷却パックを使用する
	主管②	30分	

〈所要時間 約1時間30分〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【SGNTV-003試験(innovaTV 301試験) N Engl J Med 2024;391:44-55(PMID:38959480)】

【適応】

(臨床試験)

*対象: 一次又は二次全身療法の治療歴のある再発又は遠隔転移を有する子宮頸癌

*術後補助療法、一次治療における有効性及び安全性は確立していない

*インラインフィルター(0.2 μ m)を使用する。

*希釈後、最終濃度を0.7～2.4mg/mlとし、濃度範囲外となる際には、希釈液量を調整すること。

*同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しないこと。

*希釈後2～8℃で保存し、投与時間を含め18時間以内に投与完了すること。